

地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン（平成 29 年 4 月）【抜粋】

2. 地域学校協働活動の推進に向けた基盤整備

(1) 地域学校協働活動を推進する体制の整備

① 連携協力体制の整備

- 地域学校協働活動の実施に当たって、教育委員会において、社会教育法第 9 条の 7 に規定する「地域学校協働活動推進員」や、活動に参画する地域ボランティアの身分、権限、責任、役割分担等について明確にしておくことが重要です。その上で、これらの者に適切な人材を得られるよう、人材の発掘や選任の方法や、事前説明、研修等の仕組みを整備しておくことも大切です。
- さらに、災害、事件・事故、子供たちの健康などへの危機・安全管理体制を構築するため、緊急連絡網の整備や、事案のケースごとの危機管理マニュアル、Q&A 等を作成しておくことも大切です。子供たちや保護者、地域ボランティア等の個人情報の適切な管理について、ルールや注意事項等をまとめ、十分に留意する旨を周知することも重要です。

(2) 学校・地域住民に対する情報提供・理解の促進

① 地域住民等への情報提供・理解の促進について

- 地域住民等の参加を促進し、地域住民等の活力により地域学校協働活動を活性化していくためには、地域学校協働活動推進員や地域ボランティアとしての参画の手引きとなるような地域住民向けのハンドブックや、参考事例集を作成することなども有効です。ハンドブックや事例集においては、地域全体で子供の成長を支えるためには、地域住民の参画が不可欠であることを示すとともに、地域ボランティアとして活動するに当たっての心構え、ルール、注意点や、地域ボランティアとしての活動内容、活動場所など、地域住民が参画する際に具体的に参考となる情報を掲載することが重要です。このようなハンドブックや事例集の作成にあたっては、学校関係者向けのものと共通のものとすることや、スマートフォンなどで見ることができるような形式のものにするなど、各都道府県・市町村でより多くの地域住民に活用されるように工夫していただくことが期待されます。
- 幅広い地域住民等の参加を得るためには、学校や PTA、自治会等の団体等を通じた参加の呼びかけが有効です。地域学校協働活動を推進するために、多様な団体や機関の協力を得て、活動に対する理解の促進を図り、信頼できる地域ボランティアの発掘を進めることが重要です。

3. 地域学校協働本部の整備

(3) 安全・安心な活動の推進

① 地域学校協働本部における安全・安心な活動に向けての準備

- 安全・安心な地域学校協働活動の実施のためには、教育委員会において、①子供たちの健康に関する危機管理、②災害対策、③施設周辺における事件・事故に関わる危機管理、④不審者侵入対策等を講ずるよう、本部の関係者に促すことが必要です。予防と発生時の対策の両方を多面的に準備しておくことが重要です。例えば、施設・設備等のハード面の対策として点検等を行うとともに、活動内容・指導体制等のソフト面の対策として、関係者が連携して安全管理を行ったり、子供たちへの安全指導を実施したり、地域と学校が連携・協働して非常時を想定した訓練を行うことなどが挙げられます。
- 危機・安全管理のための地域学校協働本部の連携先として、教育委員会や首長部局の関係部局、活動を実施する施設等の関係者等をはじめ、警察・防犯団体、消防署、保健・医療機関、地域の多様な団体等と活動内容や地域の状況に応じて、日頃から準備しておくことが重要です。

② 危機管理、安全対策の重要性の周知と研修

- 教育委員会においては、安全・安心な地域学校協働活動の実施に向けて、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等を対象とした研修を実施することが重要です。研修の具体的な内容としては、例えば、危機管理・安全対策についての基本方針や共通認識、使用する施設及び備品や道具等についての安全点検と適切な使用方法、子供の基礎疾患や当日の体調の理解とそれらを踏まえた活動の在り方、子供の行動特性の理解、障害のある子供の特性等の理解と支援の在り方、活動に関する保護者への説明、集団生活における感染症、熱中症、食中毒についての基礎的な理解と対策、応急手当の方法、事故等の発生時の記録の仕方や報告体制、医療機関に関する情報、保護者への連絡体制、何かあった際の学校との連携などが考えられます。

③ 子供たちへのきめ細かな対応

- 子供たちを地域全体で見守り、子供たちの安全・安心を確保する上でも、活動に際しては、地域ボランティア等が複数で対応する、活動内容を推進員、学校関係者や保護者等に共有するといった工夫を図ることが大切です。
- また、地域学校協働活動中に子供たちの様子や学校の周辺状況で気になることがあった場合には、学校側にもそうした懸念を伝えることにより、子供たちを多角的に見守ることにつながります。地域と学校との連携を密にして情報を共有し、地域全体で地域の子供たちの安全・安心を確保することが重要です。